

とちぎの農業

～豊かな農産物供給～

本県の農家一戸当たりの経営耕地面積は全国 5 位、それに携わる家族の人数も全国 5 位となっています。さらに農家の減少率は全国で 4 番目に低く、堅実な農業が営まれています。(図 1、図 2)

また、本県は農業に適した恵まれた気候と土地、豊富な水、首都圏に位置する地理的な優位性を活かして米麦・園芸・畜産など多彩な農産物が生産され、首都圏の食料基地として大きく貢献しています。

そんな本県の農家から、おいしい「いちご」や「栃木米」など下記にあるような沢山の農産物を、県内外の多くの消費者の皆さんにお届けしています。

今日の食卓には、「こしひかり」と「ニラ」がたっぷりの餃子、「アユ」を肴に「ビール（二条大麦）」や「牛乳（生乳）」と「とちおとめ（いちご）」をコラボしたデザートなどいかがでしょう。

本県の農業が今後とも安定的な発展をしていくためには、担い手の高齢化や減少、産地間競争の激化等の課題に対応するとともに、食料供給県として消費者の信頼を得られる農産物を提供していくことが求められています。

指標名		指標値	順位	全国
1	総農家数	71,471戸	19位	2,848,166戸
2	農家人口	314,721人	13位	11,338,790人
3	農家一戸当たりの農家人口	4.40人	5位	3.98人
4	経営耕地面積	107,957㍍	9位	3,608,428㍍
5	農家一戸当たりの経営耕地面積	1.51㍍	5位	1.27㍍

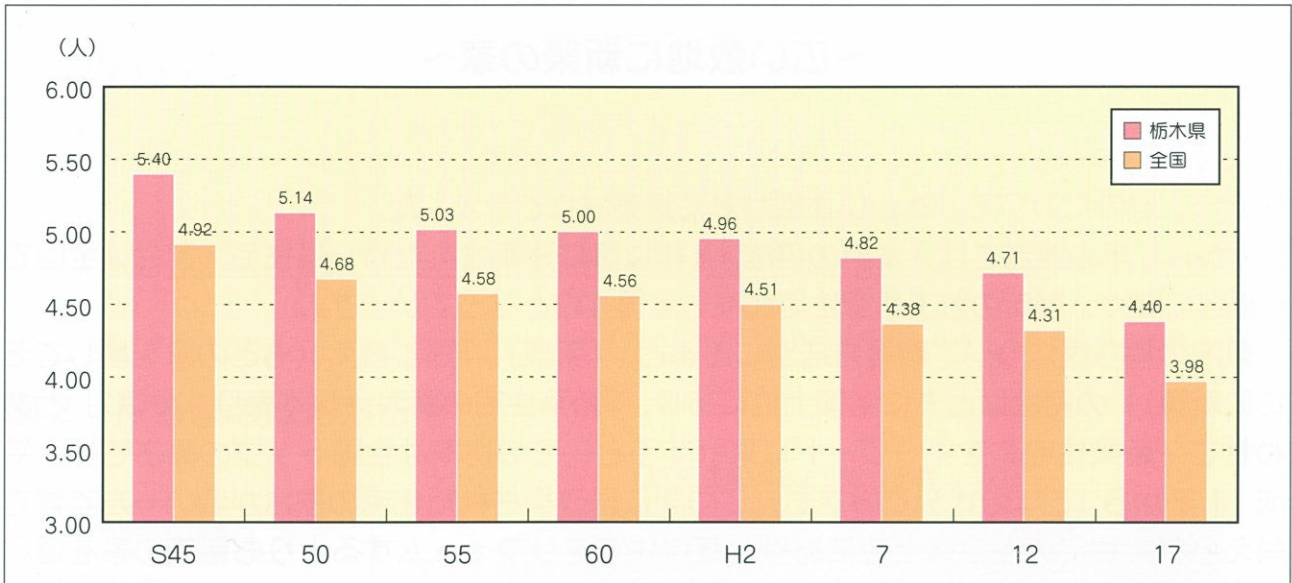
※1～5 2005年農林業センサス（農林水産省）

〈参考〉全国で上位を占める主な農産物

全国順位	主な品目と収穫量
1位	いちご（H 18）30,200t、かんぴょう（H 17）373t
2位	ニラ（H 18）12,400t、二条大麦（H 18）33,000t こんにゃく（H 18）2,960t、生乳（H 17）327,486t アユ（H 17）732t
8位	水稻（H 18）338,800t

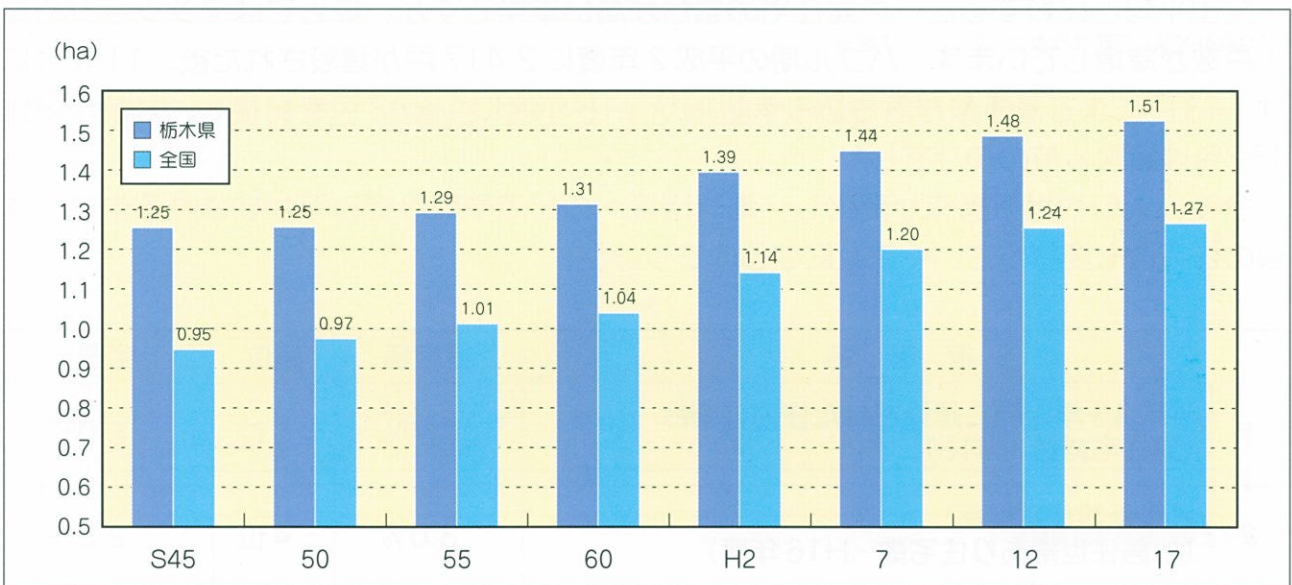
※関東農政局栃木農政事務所調べ

図1 農家1戸当たりの農家人口の推移



※農林業センサス（農林水産省）

図2 農家1戸当たりの経営耕地面積の推移



※農林業センサス（農林水産省）

トピックス

－挽きたて、打ち立て、茹でたて－

平成18年の「そば」収穫量は1,690tで全国5位。例年新そばの季節には県内各地でそば祭りが開催され大勢の人で賑わいます。また、県内67か所ある農村レストランでは、その8割が手打ちそばを中心メニューとしており、県庁所在地の消費量ランキング（※）でも「そば・うどん」の消費金額が9,090円で全国3位。1位は讃岐うどんで有名な高松市（12,075円）、2位の山形市（9,239円）との差はわずか149円ですから、目指せ！そば消費量日本一ですね。

※家計調査平成16～18年平均（総務省統計局）